

Audiologyの ディープな夜

本ウェビナーシリーズは、堅苦しい発表の場を飛び出し、
まるで二次会の席で先輩から教わる「ここだけの話」—— そんな空気感を目指す取り組みです。
教科書には載らない実践的な知恵やエキスパートたちが直面してきた失敗談もオープンに公開。
若手医師やSTの先生方が抱く「難しそう」という不安を払拭し、明日からの臨床で実践できるスキルを伝授します。
ちょっとマニアックで、でも親しみやすい。
本シリーズの各ウェビナーを通じて、Audiologyの楽しさと出会ってみませんか？
皆様のご参加をお待ちしております。

第1回

もう『お任せします』とは言わない。
補聴器適合をディスカッションするための武器を手に入れろ。

日時

2026. 12.2 (水) 19:00 – 20:30

司会

水足 邦雄 先生 | 東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 教授

演者

土橋 奈々 先生 | 九州大学病院
耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教

長富 大祐 先生 | 神戸大学医学部附属病院
リハビリテーション部 言語聴覚士

開催形式

オンライン開催



九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教

土橋 奈々 先生

初めて補聴器外来に携わる方には、どのような補聴器を勧めたらいいのかわからないことや、補聴器を使った方が良い聴力なのになかなか調整がうまくいかずドロップアウトしてしまう患者さんへの対応など、さまざまな場面で苦慮されることがあると思います。私もそういったことを現在進行形で経験しながら補聴器診療に携わっている一人です。このウェビナーでは、検査結果の見方や評価・判断といった補聴器外来の基本的な整理から、現場で困りがちなトピックを皆さんとディスカッションしながら、明日からの補聴器診療に活用頂ける工夫をご提示できればと思います。



神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部 言語聴覚士

長富 大祐 先生

「こもる」「響く」「雑音が気になる」など、補聴器を装着されている患者様の訴えは本当に様々であり、小生も日々の臨床で頭を抱えることばかりです。今回は、そんな中でも補聴器診療を始めたばかりの施設ですぐに試せる対応を中心にお話しします。あわせて、補聴器適合検査の結果をどう読むか、そこからフィッティングをどう変えていくか、そして医師と補聴器販売店の間に立つ言語聴覚士がどう立ち回るか等についても、臨床の小話も交えながらご紹介できればと思います。

お申し込みは
コチラ

日本聴覚医学会 | Audiologyのディープな夜

<https://forms.gle/S278rsDRnjf5wpGL6>

